

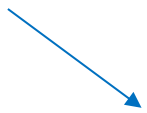
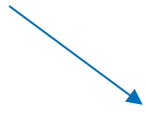
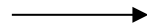

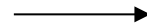
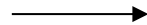



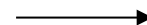
野菜の生育状況及び価格見通し（年末・年始）について
 （東京都中央卸売市場における主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品目	現在の生育状況
根菜類 (だいこん、にんじん)	生育は、概ね順調。
葉茎菜類 (はくさい、キャベツ等)	生育は、概ね順調。 ただし、レタスは低温の影響で生育遅れ。
果菜類 (きゅうり、なす等)	生育は、概ね順調。
土物類 (ばれいしょ、さといも、 たまねぎ)	生育は、概ね順調。

（各論）

品目	主産県 (※()書きは 昨年12月の入荷 シェア。)	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し (平年比)	
			年末(12月下旬)	年始(1月上旬)
だいこん	千葉(47%) 神奈川(42%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
にんじん	千葉(80%) 埼玉(7%)	・主産地において生育期の適度な降雨等により、肥大が進んでおり、 <u>出荷数量が平年を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下回る</u> 見込み。	↘	↘

はくさい	茨城(92%)	<ul style="list-style-type: none"> 主産地において生育期の適度な降雨等により、肥大が進んでおり、<u>出荷数量が平年を上回る</u>ため、<u>価格は平年を下回る</u>見込み。 ただし、今後気温が低下し、鍋需要が増加すれば、価格が上昇する可能性。 		
キャベツ	愛知(50%) 千葉(32%)	<ul style="list-style-type: none"> 主産地において、10月の台風18号及びその後の曇雨天の影響で、根の張りが弱く、やや小玉傾向となっているものの、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 ただし、低温が続けば、根の張りが弱いため生育が遅れ、価格は平年を上回る可能性。 		
ほうれんそう	群馬(39%) 埼玉(17%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 ただし、ほうれんそうは特に低温などの気象変化の影響を敏感に受けやすい品目であるため、今後の気象によっては生育が遅れ、価格は平年を上回る可能性。 		
ねぎ	千葉(21%) 埼玉(20%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 		
レタス	静岡(30%) 茨城(17%)	<ul style="list-style-type: none"> 年末にあっては、主産地で10月の台風18号の大雨に伴う定植遅れに加え、12月の低温により生育が遅れ、<u>出荷数量が平年を下回る</u>ため、<u>価格は平年を上回る</u>見込み。 年始にあっては、定植遅れ等の影響が解消され、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 ただし、レタスは特に低温などの気象変化の影響を敏感に受けやすい品目であるため、今後の気象によっては生育が遅れ、価格は平年を上回る可能性。 		

きゅうり	宮崎(40%) 千葉(18%)	・主産地で低温等の影響により、生育が遅れており、 <u>出荷数量が平年をやや下回るものの、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
なす	高知(60%) 福岡(22%)	・主産地で低温等の影響により、生育が遅れており、 <u>出荷数量が平年をやや下回るものの、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
トマト	熊本(46%) 愛知(20%)	・主産地で低温等の影響により、生育が遅れており、 <u>出荷数量が平年をやや下回るものの、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
ピーマン	宮崎(33%) 茨城(26%)	・主産地で低温等の影響により、生育が遅れており、 <u>出荷数量が平年をやや下回るものの、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
ばれいしょ	北海道(87%) 長崎(13%)	・北海道において収量は平年を上回り、 <u>出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u>	↘	↘
さといも	埼玉(60%) 千葉(16%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
たまねぎ	北海道(88%)	・収量は概ね平年並であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>	→	→